

(知立市) 来小っ子サポートステーション (来迎寺小学校区地域学校協働本部)

市町村の 基本情報	学校数	小学校7校、中学校3校		
	地域学校協働活動推進員等の配置	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
		地域学校協働活動推進員		6人
	状況	統括コーディネーター		1人
		地域コーディネーター		14人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小4校	中2校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小4校	中2校	



(活動の実際) (来迎寺小学校の取組)

(目的)

保護者・地域住民等の学校運営への参画等を進め、信頼関係を深めるとともに、児童の豊かな成長を支える。

(活動内容)

教頭が地域学校協働本部長となり、地域コーディネーターと連携しながら保護者や地域住民等に声をかけ、それぞれの立場で教育活動をサポートしていただく。

※活動例：保護者（1年給食補助、プール監視補助、ミシンのこぎりを使う授業の補助等）

おやじの会（紙飛行機大会の開催、夏祭りの開催、秋の縁日の開催、来小逃走中の開催等）

地域住民（児童の登下校の見守り、旧跡保存会と有志児童との旧跡合同整備作業等）

(意識していること)

- ・ 持続可能な活動になるよう、「できる人が、できるときに、できることを行う」意識を共有し、保護者や地域とともに、子供たちの豊かな成長を支える学校を目指す。
- ・ 活動の様子を学校だより、ホームページなどを使って、保護者、地域へ積極的に発信し、周知する。

(◎成果と●課題)

- ◎ 保護者に、入学して間もない1年生の給食や清掃の補助、下校の見守りをお願いした。参加した保護者には学校での様子を知ってもらう機会になるとともに、1年生担当教員の負担軽減につながった。
- ◎ 地域の方が、学校の教育活動に関心をもち、協力しようという雰囲気の高まりが感じられた。
- ◎ 地域コーディネーター打合せ会や学校運営協議会を通して活動内容が検討されるので、お互いに内容を理解しながら助言し合い、それぞれの活動が児童や教員にとってよりよい内容になった。
- 会議の日程調整や準備、慣れない保護者への助言など、学校の窓口になっている教頭への負担が大きい。

(関係者の声)

- ・ ミシンを使う授業で、先生一人だとなかなか教えてもらうことができないけど、保護者ボランティアのお母さんたちがいたので、すぐに教えてもらえたと、コツも教えてくれたのでよかったです。(児童)
- ・ 1年生の給食が始まる時期は、いつも慣れない児童が多くて大変でしたが、保護者ボランティアさんたちが要所要所で支援や見守りをしてくれたので、とても助かりました(教員)
- ・ 初めて息子が小学校に入学しました。どのように生活しているか心配でしたが、給食支援を通して息子の様子を見ることができ、とても安心しました。1回の予定でしたが、結局可能な限り参加しました。(保護者)
- ・ 地元の旧跡の保存活動を小学生が手伝ってくれるのはとてもうれしいです。この子たちが、将来大人になっても地元の旧跡保存に関心をもち、関わってくれたらと願っています。(地域の方)